

今週の富大生

Weekly
TOMIDASEI

第21号

都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科
3年
北海道札幌東高等学校
(北海道)

建築士になりたいと思い、富山へ

理系を選択したものの、高校の進路調査の回答には、いつも迷っていました。私は街を歩きながら建物の中や作りを想像するのが好きだと気づいて、理系のいろんな学問の中から、建築士を目指そうと思いました。最初は地元の北海道の大学を志望していましたが、場所よりもやりたいこと、学びたいことが学べる大学を調べ、後期入試で富山大学の都市デザイン学部の都市・交通デザイン学科に進学しました。

北海道と富山の繋がり

受験校を検討するのに、地元の札幌に帰りやすいというところも考えながら選びました。札幌（新千歳）空港から富山までは1便なので、便利です。夏、年末年始、春休みの年3回帰郷しています。コンパクトシティの富山は、街の規模感がちょうどよくて、気に入っています。祖父が富山出身ということも後になって知り親近感を持っています。

一人暮らしで変化した心境

高校までは、自分から前に出るようなタイプではありませんでした。富山に進学し、一人暮らしを始めたことで自発的に動かなければいけない場面が多くあり、自分から行動すると、色んな人と関わることがわかり、行動するようになりました。

自分で手を挙げて自主プロで代表に

経験として一つのことをやり通してみたいと思い、都市・交通デザイン学科で行う「自主プロジェクト」という、学生企画に1年次から参加しています。「まちなかライトアップ事業」を3年続けています。3年次はチームの代表になりました。6名ほどのメンバーの代表です。代表になろうと思ったのも、やらないよりもやって後悔したほうが良いという思いからです。

リーダーとしての経験

先日11月9日、10日に黒部パッシブタウンで「Early Xmas(はやめのクリスマス)」というイベントに出店しました。子ども向けの美濃和紙でツリーを作るワークショップを企画しました。リーダーとしてイベント主催者への企画プレゼンや、調整を初めて経験しました。代表を務めることで、自分事として活動をとらえることができ、大人との対応も学びました。



大学生活を通してやりたいことに変化

入学当初は「建築士になりたい」と思っていたのですが、大学での勉強や活動を通して、「まちづくり」や「公共交通」に興味を持つようになりました。できれば地元の北海道にUターンして、よりよい街や暮らしに貢献したいと考えています。

母校の後輩へ

高校時代はやりたいことがなかなか見つからず、自分の知っている分野から進路を選択する人も多いと思います。ですが、社会には自分の知らないことがたくさんあります。大学で学べることや、社会で出来ることを、幅広く調べる時間も大切にしてください。